

## 別表5の4 応急手当WEB講習

### 1 対象

中学生以上の者（応急手当普及員が指導者として開催する場合は、当該応急手当普及員が所属する事業所の従業員又は自治会、防災組織等の構成員に限る。）

### 2 到達目標

- 1 心肺蘇生法を救急車が現場到着するのに要する時間程度できる。
- 2 自動体外式除細動器（AED）について理解し、正しく使用できる。
- 3 異物除去法及び大出血時の止血法を理解できる。

### 3 標準的な実施要領

- 1 eラーニングによる事前学習を行い、その後に実技講習を行う。
- 2 実技講習は、短時間救命講習とする。

### 4 内容（eラーニング）

項 目		細 目		時間 (分)
応急手当の重要性		応急手当の目的、必要性（心停止の予防等を含む。）等		—
救命に必要な 応急手当	心肺蘇 生法	基本的心肺蘇 生法	反応の確認及び通報 胸骨圧迫要領 気道確保要領 口対口人工呼吸法	
		AEDの使用 法	AEDの取扱要領	
		異物除去法	気道異物除去要領	
		効果確認	心肺蘇生法に関する知識習得確認	

### 5 備考

- 1 eラーニング受講後、概ね1か月以内に実技講習を受講すること。  
また、実技講習時にeラーニング受講後に表示される受講証明書を提示すること。
- 2 3年毎に定期的な再講習を行うこと。